

「第3回 奥沢水源地 保存・活用検討委員会」意見交換内容

●基本方針案について

- ・奥沢水源地の水道施設が、歴史的にも重要で価値がある資産だということを明確にしたい。
- ・水がつくられる仕組みや森から酸素がつくられているということを、環境教育の中で子どもたちに伝えられる方針としたい。

●ゾーニング案について

- ・施設の説明には、現地に掲示板や模型を設置するなど、水のできる仕組みをイメージできるような工夫が必要である。
- ・現地だけで施設等を説明するのではなく、博物館と連携することも有効である。
- ・これまでは水道施設として運営してきたが、今後、公園や交流の場として使っていく時に、河川等の安全対策も必要である。
- ・散策路については、アスファルトで舗装するのではなく、ウッドチップを敷くなど、可能な限り自然に近い形で、安全な散策路を検討してほしい。
- ・ピクニックは、持ってきたお弁当を食べるというイメージが強いが、水と親しむという点では、子ども頃に体験した炊事遠足ができればよいと思う。
- ・トイレは、水洗トイレの整備と整備後の管理が重要である。
- ・「あんないひろば」内の駐車場や資材庫については、木で隠すなどの工夫が必要である。
- ・この委員会で話し合っていることを上手くまとめ、次の段階に引継ぎ、良い施設として整備されていくことが大事である。